

令和8年5月1日

令和8年度 八峰白神ジオパーク推進協議会総会  
議 事 録

- 1 開催場所 八峰町役場 大会議室
- 2 期日 令和8年5月1日(水) 13:30~14:30
- 3 出席者  
会長 堀内 満也  
副会長 鈴木 洋一 (八峰町教育委員会 教育長)  
副会長 鈴木 悟 (八峰白神ジオパークガイドの会 会長)  
監事 小玉 育宏 (白神八峰商工会)  
監事 斉藤 誠悦 (八峰町白神ガイドの会)  
団体会員 門脇 哲也 (秋田県漁業協同組合北部支所)  
高辻 洋暁 (秋田銀行八森支店 支店長)  
小沢 悟 (八峰町芸術文化協会 会長)  
加藤 知徳 (八森郵便局 局長)  
年代 信弥 (八峰町校長会 会長)  
個人会員 奈良 聡子  
事務局 鈴木美由紀、木藤 誠、山本依武希  
商工観光課 須藤佳奈子
- 4 案件  
1) 報告第1号 令和7年度事業報告  
2) 議案第1号 令和7年度収支決算報告  
会計監査報告  
3) 議案第2号 令和8年度事業計画(案)  
4) 議案第3号 令和8年度収支予算(案)  
5) その他

【堀内会長あいさつ】

お疲れさまでございます。

大変お忙しい中、八峰白神ジオパーク推進協議会の総会にご出席いただきまして本当にありがとうございます。もう皆さんご承知の通りでございますけれども、今年は我がジオパークの再認定の年でございます。4月にJGNの方々とも意見交換したことでございますし、当局側も再認定になるように取り組んでいきますので、どうか皆様からも引き続きのご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

また、本日、今朝の新聞でありましたけども、北羽新聞さんに県立博物館で「秋田の大地と成り立ち」という企画展を開催して、この中でもジオパークもご紹介をするというようなことも書いておりました。私も時間があれば参加したいなと思ってますし、皆様からはこちらの方、来ていただければ幸いです。

さて、本日でございますけれども、令和8年度の事業計画等を報告することとしております。皆様から忌憚のないご意見が賜りますよう、よろしく願い申し上げまして、私からのあいさつとさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

【1）報告第1号 令和7年度事業報告】

【2）議案第1号 令和7年度収支決算報告】

1) 1. 運営

2. 保全・研究

3. 教育・防災

4. ツーリズム

5. ネットワーク活動

6. その他

2) 1. 令和7年度収支決算

会計監査報告 監事より報告

(小玉育宏監事から監査報告書読み上げ)

令和7年度八峰白神ジオパーク推進協議会会計収支決算書に関する一切について、令和8年4月23日に監査し、適正と認める。

《質疑応答》

会 員～資料が当日の配布なので、ちょっと質問を用意できなくて、あの今説明を受けただけでは、あの全体が見えないっていうのがまずこれは毎年思うことなんですけど、できれば事前に資料を配布していただけると助かります。それと収入についてですけども、ツアーの参加者からは負担金は全然もらってないということのようですが。ガイドさんへの報酬というのは、この補助金から出してるってことになるんでしょうか。

事務局～ガイド料につきましては、ガイドの会という別団体があって、ガイド会の方で經理してますので、こちらの推進協議会では表示をされてきませんし、実際お金のやり取りもないです。小中学校ガイドに関しては、町の一般会計で予算措置していますので、町の一般会計から支出をしています。

会 員～わかりました。それともうひとつ、支出のこの「2 事業費」のジオツアー。これは旅行会社の企画した商品に乗ってやることができなかつたので、支出がゼロとなったという説明でしたけれども、協議会で企画したオリジナルのジオツアーっていうのはありますよね。町内を見せて歩く取り組みって何回かやっていますよね。それはどの事業になるんですか。

事務局～こちらにつきましては、推進協議会というよりも、報告の方に記載している、ジオウォークであるとか、こういったものは、ガイドの会に補助金を出す形で、ガイドの会の方で事業を実施していただいていますので、そちらの費用等につきましては、ガイドの会の総会資料で出てきます。ジオパーク推進協議会そのものは旅行事業者ではありませんので、独自の一般向けの旅行商品を販売はできませんので、例えば、第一観光さんとかいろんなどころに旅行商品を作っていただいて、その方に助成金という形で出させていただくというようなものを、要項を定めて、そちらの方でっていう形にさせてもらっています。

会 員～本町のジオパークは教育の方に重点を置いて久しい、何年かなるわけですけども、その時には町内の小・中学校、学習会を開催して行われているようですけども。どうせなら、近隣の小・中学校にも周知してですね。ジオパークを広く周知して学習会を開いてもどうかな、と思うんですけど、その辺は考えてるんでしょうか。

事務局～現在は体験センターと連携してやらせていただいています。体験センター事業としてやっていますので、体験センターで実績になると思います。去年は、こちら別資料の1枚めくっていただきまして、有料ガイドの実績の方ですけども、こちらに、町外の学校は金岡小学校さんのみでした。その前の令和6年度あたりは淳城南小学校さんとかあったんですけども、これは体験センターの体験メニューとの関連もありますので、残念ながら選んでいただけなかったという言い方がいいかはわかりませんが、そういう形で去年は終わったという話になります。いずれ今年度以降も引き続きやっていますので、体験センターさんと引き続きやっていきたいと思っています。

会 員～関連して聞きたいんですけども、体験センターと今言いましたけど、体験センターとの協議みたいなことは、今までガイドの会は呼ばれてないんですよ。白神ガイドの方とは打ち合わせあるけども、ジオパークとはやってないっていう風に言われたので、結局そういう打ち合わせがないと、体験センターのメニューにもなり得ないので、今後（打ち合わせ）なれるようにできないんでしょうか。

事務局～（事務局長）体験センターの所長も兼務しているんですけども、昨年度末にそういうお話をいただいて、体験センターの運営協議会というものがあるんですが、そちらにジオパークガイドの会から入っていただこうかなと協議していたところなんですが、運営協議会を4月に開催しておりまして、ガイドの会の会長さんが決まる前だったので、大変申し訳ありませんが、今回はお声掛けさせていただいてないところです。で、来年に向けては、会長さんが決まったということですので、協議させていただければなというふうに考えております。

会 員～白神ガイドとジオパークガイド、体験センター、で、推進協議会。この4つの組織が白神、ジオパークに関わってるわけですね。その全体像がちょっとよく見えなくて。それぞれの役割とかすみ分けとか連携がどういうイメージなのかちょっとわからないんですけど、皆さんはお分かりになります？（わからない、という反応）

その辺を解説した資料があればいいなと思いますけど、どうでしょう。

事務局～（事務局長）そうですね。非常にわかりづらいと思ってるなと思います。ちょっと体験センターは置いて、おそらくジオパークガイドの会、白神ガイドの会、あとネイチャー協会、この3つが非常にこう、わかりづらくなっているかなと思ってますし、ネイチャー協会と白神ガイドの会は、商工観光課が主管です。で、ジオパークガイドの会は生涯学習課ということで、昨年のことしかわからなくて申し訳ないんですけども、昨年度はほとんど、課と課の連携ということはできておりませんでした。今後は皆さんにそれぞれの機能がか分かるような形を示していきたいなと考えています。

会長～入ってる人が同じような感じになってると余計わかりませんよね。それぞれ違う人がやればまたいいかもしれないですけど、同じメンバーが、同じ、それぞれの組織に属しているの、なんか、確かにわかりづらくなっていうのありますけど。

会員～所管の課もまた違う。

会長～なかなか、町が主体となって、その辺の整理ということは非常にやりづらいところもありますんで。多分団体の方々と、そこはさっき言ったように同じようなところもあるでしょうから、皆さんに話をしてもらえればなと思います。他にございますでしょうか。

会員～運営委員会の時にも言った話なんですけど、今日の事業報告の中で、教育利用促進事業というところの中で、ガイド研修会が由利本荘市で開催されたっていうのがあって、それなんかはその個人自己研鑽の場所なんで、自分で勝手に行ってくださいっていう通知が来たんですね。だけど、これって結構、全県のジオパークが集まって、交流会だったりとか、かなり勉強会とかやったり、あと、ポスター発表とか事例発表とかそういうのをやって非常に大事な会なんですけど、なんとなく、その「個人の研修だから勝手にしてくれ」みたいな感じでしか扱われてなくて、結果的に僕1人しか参加しなかったんです。で、やっぱりそういう形だと、うまくないので、こういう大事な勉強会にはもうちょっと力を入れて、推進協議会の方でも、例えば交流会に対しては出してもらおうと。お酒の方は持っていかなきゃいけないので、そういうものに対して、フォローしてもらえればありがたいなと思います。それともう一つここには載ってないんですけども、環白神の、一昨年八峰町でやった勉強会あるんですけど、去年もそれが能代であって、それもですね、結局その通知が来なかったんですよ。ガイドの会の方に。で、僕の方はその前の八森に出たので、個人的に通知来てたので、これなんとか通知してくれっていうことで、事務局に催促して通知出してもらったけども、申し込みの締め切りがもう終わっているような状態の時に出しているんで、結果的にそれも僕一人しか出てなくて。で、それに対しても、やっぱり何のその支援もないという状態なんですね。でも、この前、県知事の「環白神の推進」ということで、力を入れてきているのなのに、町の方のフォ

ローがないと、やっぱり参加者もなかなか集まらないし、やっぱり個人ので行かないといけないということもあるので、そういうものにもちょっと積極的なフォローを出してもらって、何人でも出れるような支援をしていただきたいと思います。

会 長～教育利用促進事業、由利本荘市でやって参加費でどのくらい取られたんですか。

会 員～参加費は大したことないですね。岩城少年自然の家に泊まるんで、何千円くらいなんです。

事務局～4,000円くらいです。宿泊が大体2,850円くらいで、あと食事朝食代とかその程度です。今お話いただいたんですけど、これは県連絡協議会の担当者会議で話がありまして。まず初めるにあたって、これは鳥海山・飛鳥ジオパークさんの方からの発案で始めたんですけども、ガイドさんが自分でお金を払って自分で参加するからこそ自分のものになる。当然自分のお金を払うので、覚えなきゃいけないという気持ちでちゃんと向かってくるので、あえて個人負担してもらいましょうということとで始めたということです。考え方はいろいろあると思うんですけども、誰かに出してもらって参加だと、結局、言われて行ったみたいな感覚でなると、やっぱり身にならんんじゃないか、っていう議論がその協議会の中でもあって、それで、この2年間は、個人負担で「自分のものにしてもらいたい」という意図で、こちらで費用の補填をするとか、そういったことはあえてしてこなかったという経緯があります。ただ、参加者がある程度住、10人とかまとまって行くのであれば、こちらで往復の交通支援をしようかなということとやっていたんですけども、結果的には1人しか参加してなかったという形だったので、行っていただいたという形になります。

会 長～他の県内、4つあるけども、他のところも参加は自費でっていうことですね。

会 員～さっき言ったように、ガイドの交流とか、ポスター発表とかいろいろやらなきゃいけないわけで、そういうことに対して、ある程度支援してほしいなっていうことと、あとさっき言ったように環白神みたいなものって、平日でなかなか参加しづらいんですけども、でもすごく大事な内容なので、そういうものをちゃんと呼びかけを事前にしてほしいなど。たまたまこっちの方でキャッチして、これなんでジオパークの方に通知してないの、って観光に行ったら、出してるんだけどなっていうことで、それで催促して出してもらったという状態。やっぱりこういう勉強会とか、今回の秋田の地学協議会、結局通知さえされてないわけです。通知もらわないと勉強会には出れないわけで、どこで何をやったか我々知らない、わからないですよ。事務局1人だから大変だったんでしょうけども、きっちり連絡をしてほしいなっていうことです。

会 長～他にございますでしょうか。よろしいですか。それでは、報告第1号、議案第1号につきましても、原案どおり承認ということでよろしいでしょうか。（「はい」の声あり）ありがとうございます。報告第1号そして議案第1号につきましても承認となりました。続きまして、議案第2号令和8年度事業計画案、また議案第3号

の令和8年度収支予算案について事務局から説明をお願いいたします。

【3）議案第2号 令和8年度事業計画（案）】

【4）議案第3号 令和8年度収支予算（案）】

事務局より総会資料を基に説明を行う。

《質疑応答》

会 長～ただいまの説明につきまして、何かご意見ご質問等ございますでしょうか。

会 員～議会のジオパーク推進協議会に対する見方が非常に厳しいんですよ。再認定や全国で行われる各種の会議の参加費とか非常に金がかかるという。要はコスパが悪かって言いたいんだと思いますけど、私はそんなことはないって、いつもかばってるんですけどね。さっきも言いましたように、所管する課がそれぞれその同じガイドの会でも、あの生涯学習課と商工観光課で分けられるとか、その辺をうまく連携して、情報を共有して、ジオパークのガイドも経済的にも貢献してるんだよ、ということをもうちょっとう訴えていかないと議会の理解がなかなか得られないと思うんですよ。ただ、金がかかるだけっていう理解なんで。ジオパークガイドの会の皆様もいろいろ、JRさんとかと協力していろんな事業をすることによって、町の観光にも、観光客が増えるとか、そういう経済効果が必ずあると思うんですよ。教育効果だけではなくて、やっぱ経済にもつながっているということをもう少し、アピールしていった方がいいと思います。以上です。

事務局～（事務局長）ありがとうございます。確かに観光部局との連携のところが今少し、薄くなってしまっているなという反省を踏まえて、ご意見をちょうだいします。

会 長～それについて私からひと言だけあるとすれば、先ほど小沢さんも言った通りですね。教育の部分にかなり力を入れて進めているというようなところですから、なんでもかんでも費用対効果じゃなくて。教育ですからね。子どもの教育とか、あるいは社会教育といった面です。知識を得れるということは十分、私はお金には換算できませんけども、効果ということではあるのかなと思ってますね。どうか（会員）さんも議会の場ではですね、そういったことではお願いしたいなと思ってます。

会 員～教育効果はもちろんですから。それ以外にも波及効果ってあるので、そこはもうちょっと寛容な理解を議会にも、私自身も求めていきたいと思いますし。実際そうなんじゃないですかね。あのジオパークを見るために来たとか、私も選挙でいろいろ町内回ってみて、ジオスポットだけじゃなくても素晴らしいところいっぱいあるんですよ。例えば椿なんか、お墓の近くから海を見渡してきた時なんか素晴らしい景色なんです。歩く観光のジオスポットだけじゃなくて、そういう、隠れたいいところに歩いたり、自転車でツアーしたりとか。そういう方面の整備も働きかけていただければな、というふうに私は考えています。

会 長～ありがとうございます。他に何かございますでしょうか。

会 員～今年また再認定の年ということで、関係者の方々のご尽力は忍ぶわけですが、

気をもんでいることと思います。ただ4年前を思うと、新聞紙上には関係者の万歳している写真が記憶にあるんですけども、どうも関係者だけの喜びっていう気がして、意外と町民のほとんどの人があんまり関心がない。「なんなんだこれ」っていう人がどうも話す人が多いので、もう一仕掛けをしてですね、町民の人に関心を持ってもらって、再認定した場合、町民上げて喜べるような、何か一仕掛けほしいなと思うんですけども、いかがでしょうかね。

事務局～（事務局長）それをめざして、活性化業務での事業をやったりとやっていうことがあるんだと思いますが、なかなか参加者がそれを定期的に増えるという状況がありません。で、今年度ですね、JRの方からお話をいただいてきまして、年間、15回往復でやりますので、トータル30回できるということになりますので、町民も含めて、リゾートしらかみに乗りつつ、ジオの話を知るといっていい機会が増えたらいいなと感じています。

会 員～かつて広報にもいろいろ掲載して、シリーズでやったこともあったんですけど、まあそっちは小さいですね。やっぱりこう町民がもうちょっとこう関心を持てる。参加してもらえれば一番いいんでしょうけども、本当に何かあればありがたいなと思う。それだけです。

会 長～（会員）さんのところとさっき言った（会員）さんの、議会の意見でいうところがかたいぶ似ているのかなと思ってます。そういったところで、私も町長になってから教育の部分に力を入れて、子どもたち、また大人に、ジオパークを知ってもらおうということが大事だというふうに言ってます。（会員）さんがそう言われるのであれば、まだまだ周知ってなされてないのかなと。（会員から「伸びしろありますんで」と発言あり）もう少し長い目で見ていただきながら、我々も、町民にしっかりと知れ渡るように取り組みを進めていきますので、引き続き皆様からご協力を賜りますのでお願いしたいなと思っています。

会 員～私、町外から通って、いろんな八峰町のところを見てもらっているんですけども、すごくいい所いっぱいあるんですね。ところが地元の人あんまり気づいてない。自分の家の周りのことでも見えてなかったりする、っていうのが現実だと。もともとジオパークって生まれた時って産業振興課だったと思います。それが生涯学習課に。あまりにもこう、観光に役立たないので、でもそれを、住んでてわからないって、結構毎日の生活なんで気づかないこともある。休みの日に行楽しようと思えば、大体みんな遠出するんです。でもちょっと家から数キロの方にいっぱいいいところがあるっていうのは地元の人にはわかってない。これはどの街もそうだと思うんですけど、そういうのを景観を壊さないで、みんなに分かってもらえるような、なんかいいやり方ってないもんなのかなって。私が何か出せばいいんですけど、パツとは出てこないんで。それは考えていってほしい、考えたいところです。以上です。

会 長～（会員）さんおっしゃる通り、なかなか一人の考えだといいいアイデアも出てこない

ところもあるでしょうから、何か考えていくことが多分大事だと思いますし、それにはジオパークというのを認知してもらうことがやっぱり必要になってくるんでしょうから、そういった取り組みを皆様にやっていければと思います。よろしいですか。

会 員～昨年、2 ページのところ、八峰白神ジオパーク内で取り組みが採決されたっていう専門研究促進事業が発表されたんですがこの内容は、北海道教育大学の相沢先生たちが泊を、枕状溶岩と偽枕状溶岩体があって、というちょっと専門の言葉だったのでわかりにくいんですが、ものすごい画期的な発表（研究）なんですよ。見方によるとすごい場所なわけで、せっかく研究してくれたわけだから、こういうふなものを、例えば資料を見たらそういうのついてないんですね。ちゃんと報告書来てるはずなんで、それなんかはやっぱりこういうところに出してほしいし、例えばそういうことを町内の人にも発表する機会みたいなものを、文化祭とかでもいいので、そういうことは積極的に企画するべきじゃないかなと思います。それと去年、海のジオってということで、クルージングやったんですね。この中でもツーリズムのところ、2 ページにあるんですけども、ワークショップっていうのは2 回やりまして、1 回目がガイドの会で勉強会が7 月 26 日。そして2 回目が8 月 23 日に一般の人向けのワークショップをやったんですよ。船の人たちに免許を取ってもらってやったら、ものすごい観光資源になるんですよ。だからそういう風なところとかを追求していくと、ジオは本当にお金になると僕は思ってるのでぜひその辺は検討していただけたらと思います。

会 員～何の勉強が必要ですか。

事務局～船舶で、観光船の扱いの免許を持つてる人がいない。知床の遊覧船の事故後、許認可がかなり難しくなったという話を聞いてます。8 月のワークショップの前に沼田の小林さんから話も聞きまして、その後法律も見てみたんですけども、あの免許を取るハードルが相当高いんです。取る費用もそれなりに大きいものがあります。それから、乗せるための、例えば、安全具の装備品等もかなり備え付けなきゃいけないことがあるので、これも漁師の空き手間でやれるかってなって、多分無理だろうなっていう感じを受けました。それを今やろうという時に、その費用を誰が負担するのかというと、おそらく壁も出てくるんだろうなと思ってます。これはジオパークだけの課題ではないと思っているので、もっと幅広い見方が必要になるかなというふうに受け止めています。

会 長～じゃあ、この辺にはその免許を持っている人はいない。

事務局～いないと聞いています。

会 員～小林さんが一応持っているやつが、新しく切り替えたやつにはまってないので、それを取り直さなきゃいけないんだろうという状態。あとは他の人は一人も持ってないという状態でした。ただ、さっきハードルが高いとは言ったんですけども、でも取れないわけではないし、逆に言うと町の方で協力すると、それで立ち上げる人

たちは全然出てくると思うので、漁業の町なので、ぜひやってもらいたいなというふうに思っています。

会 長～船は船外機の小さいやつの方がいいんだ。

会 員～船の船外機でも、小さいやつでも大きいやつでも、全部許可がないと。要するに釣り人だけじゃなくて、観光なるとまた別なのか。釣り船を持ってても観光では見せられないとかっていうのもあるんですね。

会 員～観光で乗せられるのはどんな風なんですか。

会 員～どんな小さくても、許可を取ってれば乗せられる。

会 員～ちなみにその免許、どれくらい費用がかかるんですか。

会 員～備品をその辺になきゃいけなくなったりする。大抵の船の人はちゃんとあの服とか持ってるので、そんなに大きな設備ではないと思うんです。ただやっぱり面倒くさい。誰も取ってる人がいない。こういう事業になってくるとやっぱりないと困る。

会 員～関連性があるんで、その話でも、能代の観光連盟で、能代の浜から舟出して、沖の方に行って、いろんなところ見せようや、って話出た時に、一番ネックになるのが天候、波だそうで計画してもポシヤる確立が半分以上あるそうです。波が強くて出せない。それで頓挫したような経緯もあるので、なかなか難しいのかな。

会 員～海から見る白神っていうのは観光資源になると思うのでね、やっぱり商工観光課と。

会 長～そうですね。ジオだけじゃなくて、町全体の観光としては、非常に大事な話だと思うんで、少し研究させてもらえませんか。

会 員～リゾートしらかみの話になったんですけども、事務局と事前に協議して、ガイドの会で、八峰町のイラストマップはもう作ってあるので、それを配ってガイドしてるんですね。だけど、あれ八峰町の中だけなので、移動するのが深浦まで行って帰ってくるんです。そうすると、他の場所のデータはないので、そういう（イラストマップのような物）のは欲しいなっていうことで企画して、みんなでこういう感じのものを企画したんです。（提示）これ、リゾートしらかみのジオの旅っていうことで、深浦から鱈ヶ沢までのジオの内容がわかるように、これを町内のマップと一緒に配ってガイドするっていう。だけど、事前に話し合った結果、これは八峰町以外のところなので、金は出せないとのことで、結果的にJRにお願いして、JRで頑張ってくれて、全額出してくれて、今制作中。今月の22日に完成する。これ、まだチェック前です。

会 長～実はですね、深浦と鱈ヶ沢と八峰町ってすごく町長どうしが仲良くて、話をするんですけども、実は鱈ヶ沢も深浦もですね。ジオに対してかなり興味を持ってる。私も実はですね、ジオガイドいっぱいいますけど、深浦の方に行って、「深浦町なんだけど」というような話でジオガイドされてるのを見てて、町長たちに「一緒にジオやらねすか」というような話を実はしてます。で、非常に興味を持ってくれてるんで、今年は町単独で行きますけど、いずれ継続して、この3町の連携って

うのをしっかりと進めながらですね、いずれは2町とか3町の連携のジオパークというような形をできたらなと思っています。特に深浦なんか地形も似てますから、一緒にやれるんじゃないかなと思ってますし。で、他の地域に行っても単独でっていうよりは、「1市何町」とか連携してやってるところが多いんですから。県境を超えますけども、県境を超えた連携というだったら大丈夫かなと思いますけど、そこは、2つの鱒ヶ沢と深浦の町長と一緒に、こういう気持ちで動いてきたいなと思っているので。

会 員～ぜひそういう動きになってくれればありがたい。英美先生は、隣（深浦）と一緒にやりたかったんだけど、その当時は「十二湖で稼いでるのでいらぬ」という切られた経緯になって、でもやっぱりここは大きな資源なので、1つのまとまって進めていただければありがたい。

会 長～9月に、「シートゥーサミット」というモンベルのアウトドアイベントをやるんですけど、それもシーカヤックの発着が八峰町内で、そこから自転車で十二湖まで行って、早くどっか山に登っていくっていう「シートゥーサミット」をやるんですけど、それも青森・秋田両県と八峰と深浦の連携でやりますから、そういったところも含めて。もっともっと隣町と連携すればなと思います。これも含めてやりたいな。他に何かありますでしょうか。では議案第2号および、また議案第3号については原案通り承認ということでよろしいでしょうか。（「はい」の声あり）ありがとうございます。議案第2号また議案第3号については原案通り承認されました。最後その他ですけど、事務局は何かありますか。

事務局～今日の資料、1枚戻っていただいて、今日の資料の会員一覧の方をご確認いただきたいなと思っています。15番の団体会員・八峰白神ジオパークガイドの会の会長が今年の総会の時は鈴木和人さんだったんですけども、今年の12月に諸事情でガイドの会を退会されたということで、先般、ガイドの会の総会がありまして、鈴木悟さんが残任期間の会長になったということを報告を受けましたので、こちらの協議会の副会長という形に、次の役員改選までこの形を取らせていただくということを報告させていただきます。

会 長～ありがとうございます。皆さんから他に何か相談がありますか。最後、事務局に進行をお返しします。

事務局～ご協力いただきましてありがとうございました。先ほどからお話しに出ていますけれども、今年度再認定の審査があります。その関係で皆さんにはご協力いただくことも多くあるかと思っておりますので、ぜひあのようしく願います。それではこれを持ちまして、令和8年度の八峰白神ジオパーク推進協議会総会を閉じます。ご協力ありがとうございました。